

私立 千葉商科大学附属高等学校 シラバス

英語科「論理・表現Ⅰ（３年商業科）」	単位数	２単位	学科	商業科
	学年	３年	組	H・I組

１ 学習の目標、評価の観点、内容及び評価方法

学習の目標	英語の背景にある文化に対する理解を深め、英語の音声や語彙、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を活用して話し手や聞き手の意図などを的確に理解し、目的や場面に応じて、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
-------	---

育成する資質能力	「向上心」「思考力」「判断力」「表現力」
学校ルーブリック項目	「向上心」「自律」「自己肯定感」「友愛」「創造性」「社会貢献」「思考力」「判断力」「表現力」「人間関係力」

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	英語の表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、既存の知識及び技能と関連付けながら、目的や場面、状況などに応じて適切に自分の考えを伝える技能をみつけることができるか。	コミュニケーションを行う場面や状況を理解し、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解し、基本的な語彙や文法を活用して自分の考えを適切に伝えあったり、相手からの質問に応答することができるか。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的にかつ自律的に英語を用いてコミュニケーションをとろうとしているか。
評価方法	定期考査	定期考査	授業態度 課題提出 等
配分	約６０％	約３０％	約１０％

２ 学習計画・使用教材

学期	学習内容	学習のねらい	備考（特記事項、他教科との関連など）
第１学期	第１課 Meeting New People	第１課 現在形を使って、自分のことを話したり、相手のことをたずねたりすることを学びます。	定期考査
	第２課 Last Weekend	第２課 過去形を使って、自分の休日したことを説明することを学びます。	
	第１４課 Great Achievement	第１４課	

	第 18 課 Water Problem	関係代名詞を使って、有名人や、彼らの功績について説明する表現を学びます。 第 18 課 仮定法を使って、違う人の立場に立って話す表現を学びます。	
第 2 学期	第 3 課 Weekend Plans 第 4 課 A Short Trip 第 7 課 Things Japanese 第 16 課 Climate Change 第 17 課 Food Waste	第 3 課 未来の表現を使って、自分の予定を話したり、相手の予定を尋ねたりします。 第 4 課 現在完了形を使って、自分の経験について話すことを学びます。 第 7 課 受動態を使って、様々なものを紹介する表現を学びます。 第 16 課 比較を使って、程度などを比べて説明する表現を学びます。 第 17 課 比較を使って、データを比較しながら身近な社会問題について話す表現を学びます。	定期考査
第 3 学期	なし	なし	なし

使用教科書	いいずな書店『Harmony I English Logic and Expression』
副教材	いいずな書店『Harmony I All-in-One Workbook』

3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	英語だけでなく言語を学ぶ上で大切なことは、何かと関連を持たせ、紐づけることです。各単元で学習する文法事項が日常生活や社会でどのように使えるか考え、使うシーンを想定しながら学習することで、勉強としての文法学習から、活用できる文法学習に変わっていきます。また言語は1回学習しただけでは習得することは難しいです。学習し、使い、間違い、修正するを繰り返しながら、少しずつ身につけていきます。失敗を恐れず、使い続けることが身に付くための一番の近い道であることを忘れないで、学習してください。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	最終目標は学習した文法事項を使えるようになることです。授業内の演習や課題は積極的に取り組んでください。英語は日々の積み重ねです。1つ1つのことを失敗を恐れず、継続して取り組んでいきましょう。また分からない点がある場合は、自分1人で悩まず、周りの人や担当先生にすぐ質問し解決してください。
その他のアドバイス	自分はこの先英語を使わないと思っていませんか。皆さんが将来、企業など社会にでたときに、英語が少しでもできれば、頼まれる仕事の幅が広がります。社会でより必要とされる人になるための一つのスキルとして英語を学び、今後の進路に役立ててもらえれば先生はうれしいです。